



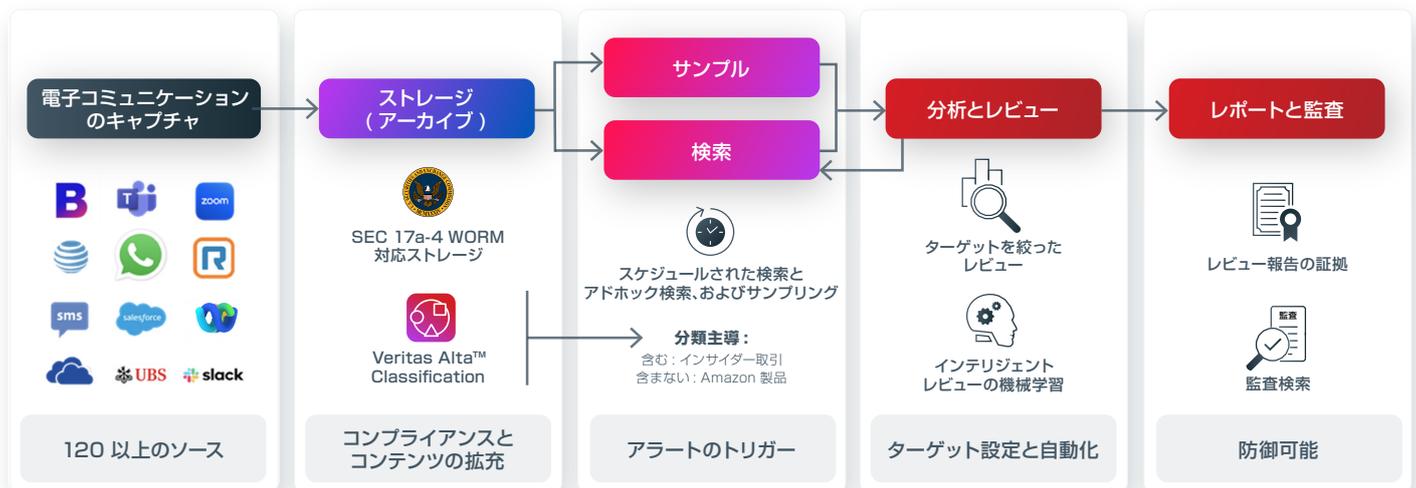
# コミュニケーション監視のための 規制コンプライアンスソリューション

電子メール、チャット、音声、動画のすべてで  
データの分析、分類、情報開示を実現

マルチチャネルプラットフォームが主流となった今日、コミュニケーションに関する監視への要求はこれまで以上に大きくなっています。規制当局による調査や罰則もますます厳しくなっています。企業は、電子メール、チャット、音声、動画などのプラットフォームで増え続けるコンテンツへの対応を余儀なくされ、サンプリングベースの検出や辞書検索ベースの検出ではもはや対処しきれません。

Veritas Alta™ Surveillance では、関連性の高いコンテンツのみをキャプチャして表示する作業がシンプルになります。タスクの自動化と合理化を実現して時間を節約し、高額な罰金を回避することができます。Veritas Alta Surveillance なら、革新的で透明性の高い AI や機械学習 (ML)、自然言語処理により、コンプライアンス義務に対応することが可能です。

SaaS ベースの Veritas Alta データコンプライアンスおよびガバナンスプラットフォームとの統合により、コンテンツのキャプチャからコンプライアンスに対応したアーカイブ、検索、レビュー、監査まで、規制要件を満たすエンドツーエンドの包括的なコミュニケーションコンプライアンスを実現します。



## Veritas Alta Surveillance の特長

### あらゆる会話をキャプチャ

電子メール、Microsoft Teams、Bloomberg、WhatsApp、Zoom など、SaaS ベース構成の 120 を超えるコンテンツソースからコンテンツを収集できます (図 1)。さらに、次のような機能も備えています。

- さまざまな形式のコミュニケーションとコンテンツを取り込んで統合
- 新しいメッセージプラットフォームにすぐに適応し、コンプライアンスリスクを低減
- データ収集サイクルをトレーニングなしで開始
- サーバーインフラを自動的に更新および保守
- 特定の情報にフラグを付けて将来のデータ収集を強化

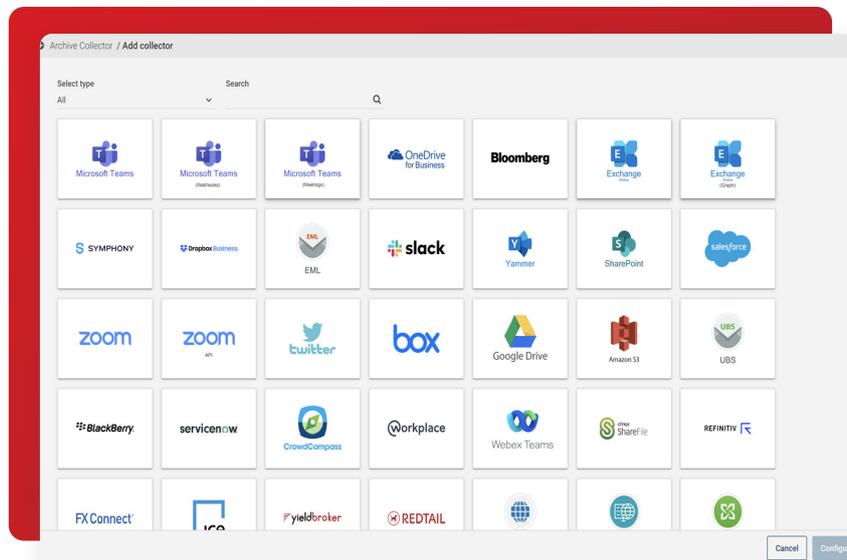


図 1. Veritas Alta Capture でアクセスできる 120 以上のコンテンツソースの例

## 詳細なファイル分析を実現

エンタープライズデータの半数以上はダークデータ、つまり不明なデータであり、規制リスクをもたらしています。コンプライアンスチームは、コンテンツを分類およびコンテキスト化する機能を利用することができます。これにより、データの検索、インサイトの獲得、規制要件への対応が容易になります。詳細なリスク分析では、次のことも可能です。

- 使いやすいレポートを活用して、無駄をなくし、コストを削減して、分類ポリシーを一貫して適用
- 保持が必要なデータと、削除したほうがよいデータを特定
- 重複データ、古いデータ、所有者不明のデータ、ダークデータを低減
- ユーザーの行動を分析し、企業内のデータの盗難を防止
- 異常を自動的に検出し、ユーザーの不審な行動や悪質な行動を特定
- グローバルアクセス権限を管理し、ファイルに潜んでいる可能性があるランサムウェアを特定

## コンテンツのメタデータを拡充

コンテンツはすべて、取り込みとインデックス作成の際にポリシーによって自動的に分類可能です。エキスパートが検証した、1,100 以上のパターンを含む 200 以上のポリシーが事前トレーニング済みで用意されており、そのまま使用することも、カスタマイズすることもできます。コミュニケーションコンプライアンス、企業コンプライアンス、法務、ヘルスケア、セキュリティ、プライバシー、公共機関など、データ主導のさまざまなユースケースに対応できます。他にも、次のような機能と利点を備えています。

- 感情分析や 30 を超える言語の言語検出などの機能が組み込まれた AI ベースの自然言語処理
- ニュースレターや自動生成された電子メールなどのノイズを特定し、コンテンツをレビューから自動的に除外するルールをトリガーするよう設計されたポリシー
- 顧客からの苦情、外部のビジネス活動、オフチャネルシグナリング、取引執行の懸念などの行動を特定してアラートを送信する、業界エキスパートによって作成されたコミュニケーションコンプライアンスのポリシー
- キーワードから近接距離に至るまで、ロジックの透明性を全面的に実現したポリシー
- 入れ子になった条件ロジック、ブーリアンと正規表現、文書の類似性、信頼度、最小数 / 最大数などの要素を使用して、ポリシーを作成またはカスタマイズする機能
- 新規および既存のポリシーの 3 カ月ごとの更新による迅速な開発とメンテナンス

## コンプライアンスに対応したコンテンツ保管を維持

Veritas Alta Surveillance では、コンテンツはすべて、規制に準拠した改ざん不可能な WORM アーカイブに安全に保存されます。ベリタスなら、保持、有効期限、アクセス、管理をきめ細かく制御して、エンタープライズクラスのデータセキュリティとデータライフサイクルを実現できます。主な利点として、次のような機能を備えています。

- ジャーナル処理されたレコードに変換し、不正な削除または過失による削除を防ぐ高可用性リポジトリに保存することで、ポリシーに基づいてコンテンツを保持
- 証明書などに関して、正当性があり、適用を受ける法律および規制に準拠した保持方法を確立
- エンタープライズクラスの高速度インデックス作成により、アーカイブ内のすべてのコンテンツの検索結果を数秒で提供
- 高速検索、リーガルホールド、ケース管理、eDiscovery のワークフローを利用できるため、コストを削減し、IT スタッフと訴訟サポートスタッフの生産性を向上
- 組み込みの直接移行機能により、コンテンツ、eDiscovery、コンプライアンスの成果物をオンプレミスのベリタスアーカイブから移行
- 個人用アーカイブ機能を使用してエンドユーザーが検索、取得できるアーカイブコンテンツへのアクセスを提供

## 監視を強化

コンプライアンスチームはレビュープロセス全体を管理できます。組み込みワークフローを設計および管理して、部門の作成、レビュー担当者と権限の割り当て、監視対象となる従業員の追加、検索とサンプルのスケジュール設定、レビュー、レポート、エクスポート、監査の実施などを行えます。カスタマイズされた辞書、分類ポリシー、インテリジェントレビューの ML に基づき、アラートが送信されます。次のような特長があります。

- 全面的な透明性を保ち、すべてのコンテンツの関連性にスコアを付けるように自身をトレーニングする、組み込みのインテリジェントレビューによる ML
- 許可リストに登録されたユーザーと免責に起因する誤検知を自動的に削減する、組み込みのノイズリダクション機能
- メッセージ全体を読まなくてもレビュー担当者を関連コンテンツに誘導する、ヒット強調表示ナビゲーション
- コラボレーション、音声、および動画コンテンツの専用レビューが可能
- 特定の役割やユーザーに対して各機能を有効または無効にできるきめ細かなアクセス制御
- 監査検索機能では、すべてのアクションが記録され、インデックス付けされており、検索とエクスポートが可能

## eDiscovery を改善

関連コンテンツの正当な収集、すべての種類のデータの専用レビュー、関連ドキュメントの効率的な生成を、包括的なワンステップの情報開示機能で実現します。問題や調査に関する部門間コラボレーションのサポートにより、社内および外部の法務チーム、IT、人事、その他の関係者がより効率的に作業を進められます。次のような利点を提供します。

- 対象を絞った、正当性のある EDRM（電子情報開示参考モデル）に基づいて、コラボレーション、チャット、ソーシャルメディア、音声コミュニケーションの 120 以上のソースからコンテンツを収集
- 関連データの場所を迅速に特定して、情報開示、監督、プライバシー、および法務の課題に対応
- 迅速に得られる検索結果を基に、高度な早期訴訟案件評価とレビューを実施
- 簡単なセルフサービスにより、検索結果を指定のレビュー担当者および管理者ごとにオンラインでエクスポート
- 法的に正当性のある形式で生成された関連データとリアクションを使用することで、レビューを高速化



## インテリジェントレビュー：透明性のある機械学習

最先端の ML を活用してレビューを最適化できます。インテリジェントレビューは、継続的なアクティブラーニングのフレームワークに基づいて設計されており、毎日自動的に更新されます。学習はレビューチームによる関連度に応じたアイテムのマーキングやラベル付けを監視するバックグラウンドタスクとして自動的に実行されます。レビュー担当者の履歴が使用されるため、特別なトレーニングセットを構築したり、エンジンを調整したりする必要はありません。

つまり、この ML はチームの活動を監視し、継続的に学習します。特定分野の専門家やデータサイエンティストは必要なく、フレームワークはシステムに組み込まれており、ボタンをクリックするだけで有効にできます。大半のレガシーシステムでは個別のトレーニングやチームが必要ですが、このシステムは陳腐化せず、正確性や関連性が損なわれることはありません。むしろ、時間が経つほど精度が向上します。入力するデータが増えるほど、精度が高くなっていくのです。

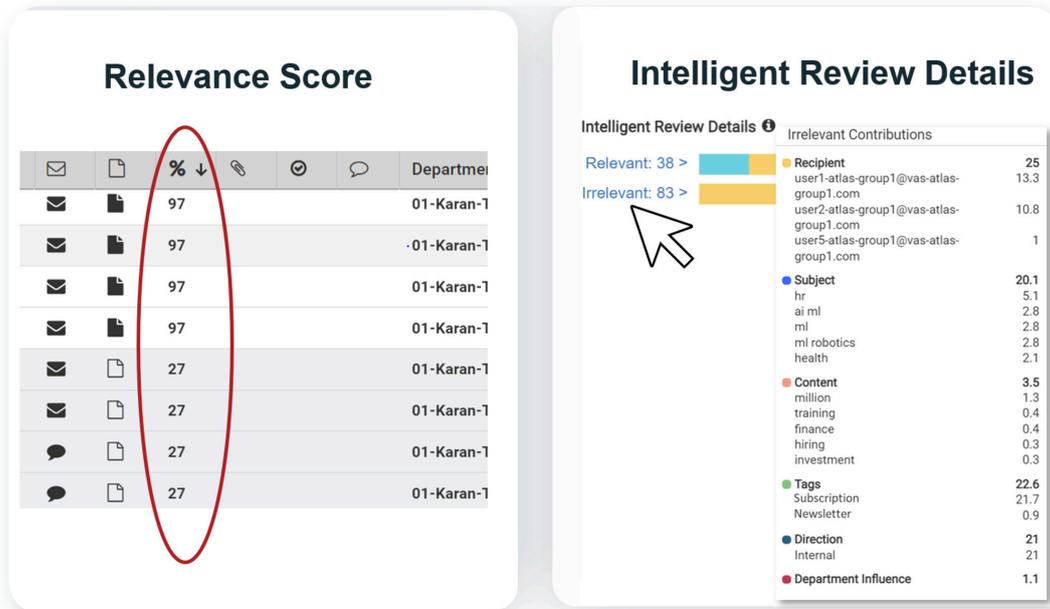


図 3. インテリジェントレビューで機械学習の予測を特定する

透明性は、Veritas Alta Surveillance のインテリジェントレビューのもう 1 つの重要なテーマです。インテリジェントレビューでは、レビュー担当者が ML の予測を簡単に理解できます。すべてのメッセージに関連性スコアが付けられるので、これを使って優先順位ごとにフィルタリングや並べ替えを実行できます。また、各アイテムにスコアの内訳が表示されるため、レビュー担当者はクリックするだけで個々の貢献度に応じてメッセージを評価できます。考慮される可能性のある要素としては、参加者、メッセージの流れ、件名、ユーザーが選択したコンテンツスニペット、分類タグ、部門の影響、レビュー担当者のマーキングなどの基準があります。

## 最適化されたレビューとヒット強調表示ナビゲーション

レビューでは、ユーザーは 20 以上のファセット、複数列の選択と並べ替え、高度な検索フィルタを基に関連するメッセージに誘導されます。アイテムレベルでは、ヒット強調表示ナビゲーションによって関連コンテンツにアクセスでき、そこで [次へ] をクリックするとメッセージの関連する部分に直接移動できます。

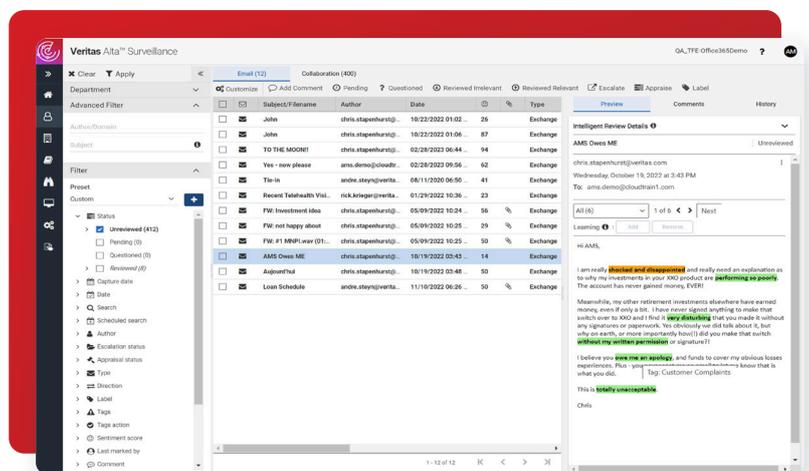


図 4. 電子メール通信のヒット強調表示ナビゲーションのビュー

## 専用レビュー

レビュー担当者は、音声、動画、およびコラボレーションコンテンツの専用レビューにより、コンテンツをネイティブにレビューできます。実際のビューとメタデータを保持し、アイテムの履歴を連続的にスクロールすることで、レビュー時にコンテキストをすべて把握できます。音声および動画コンテンツはトランスクリプションを含むメッセージとして表示されるほか、録音または録画のスマートトランスクリプトを備えた専用のメディアプレーヤーにも表示され、アラートをトリガーする部分に直接ジャンプできます。

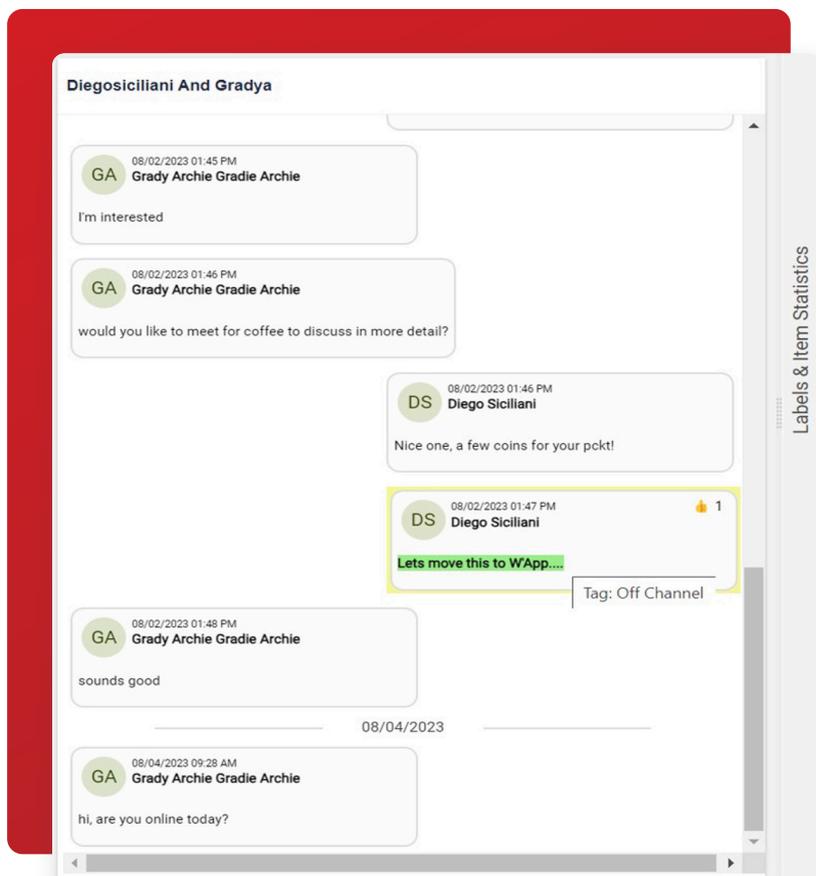


図 5. 専用レビューの例

## 強化されたレポートおよび監査ビューア

一般的に標準で装備されているレポート機能では、マネージャ、経営幹部、社内外の監査担当者、規制当局の非常に細かな報告要件に対応できません。高度なレポート機能を使用すると、PowerBI テンプレートまたは安全性の高いオープン API 経由でデータに直接アクセスし、すべてのカスタマイズ可能なレポートを取得できます。

### レポート用のデータにフレームワーク経由で直接アクセス

監査ビューアでは、すべてのシステム変更アクセスしてレポートを作成できます。監査ロール、ロールの割り当て、部門、ホットワード、監視対象従業員、および検索に対する変更は、すべてシステムに記録されています。あらゆるアクティビティがインデックス化されるため、検索やエクスポートが可能です。また、変更を行ったユーザーや日時だけでなく、現在の値と以前の値も確認できます。

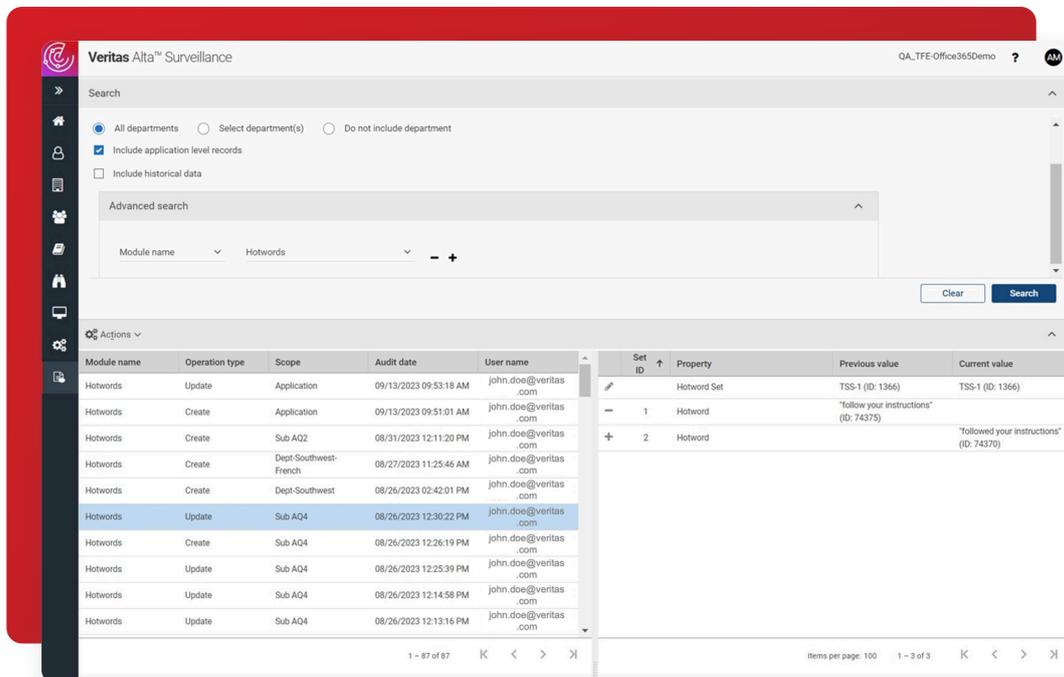


図 6. 監査ビューアの例

Veritas Alta Surveillance の詳細をご確認ください。

## ベリタスについて

Veritas Technologies は、マルチクラウドデータ管理のリーダーです。データの保護、リカバリ能力、コンプライアンスを確保するために、Fortune Global 100 の 91% を含む、先進企業 80,000 社以上が、ベリタスのソリューションを導入しています。ベリタスは、ランサムウェアのようなサイバー攻撃がもたらす脅威に対してお客様が必要とする回復力を提供し、大規模な環境でも信頼できると評価をいただいております。単一の統合されたアプローチを通じ、800 以上のデータソース、100 以上のオペレーティングシステム、1,400 以上のストレージターゲット、60 以上のクラウドをサポートしており、ベリタスの実行能力に匹敵するベンダーは他にありません。Cloud Scale Technology により、ベリタスは運用にかかる煩雑さや業務量を削減しつつ優れた価値を提供する、自律型データ管理の戦略を提供しています。ベリタステクノロジーズ合同会社は、Veritas Technologies の日本法人です。

# VERITAS

ベリタステクノロジーズ合同会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44  
赤坂インターシティ 4 階  
[www.veritas.com/ja/jp](http://www.veritas.com/ja/jp)

各国オフィスとお問い合わせ先については、  
弊社の Web サイトを参照してください。  
[www.veritas.com/ja/jp/company/contact](http://www.veritas.com/ja/jp/company/contact)